



TOKYO 2020

東京2020×持続可能性

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

東京 2020 大会の持続可能性コンセプト

Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

1. 持続可能性とは

「持続可能性」に取り組むとは？

ずっと
言う

今のことだけではなく、
将来の人々や地球の未来のことを考えて、
環境問題や人権問題などの課題に取り組むこと。

世界が直面している「持続可能性」の課題

【気候変動】



極端な気温



降水・極端な降水



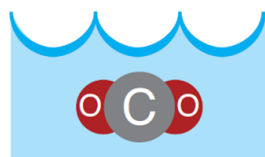
乾燥傾向



破壊的な台風、
発達した低気圧



海面上昇



海の酸性化

【生物多様性】



開発や乱獲による種の減少・
絶滅、生息・生育地の減少



里地里山などの手入れ不足
による自然の質の低下



外来種などの持ち込み
による生態系のかく乱



地球環境の変化による危機

地球の気候や生物の生息環境に大きな変化が起きています。

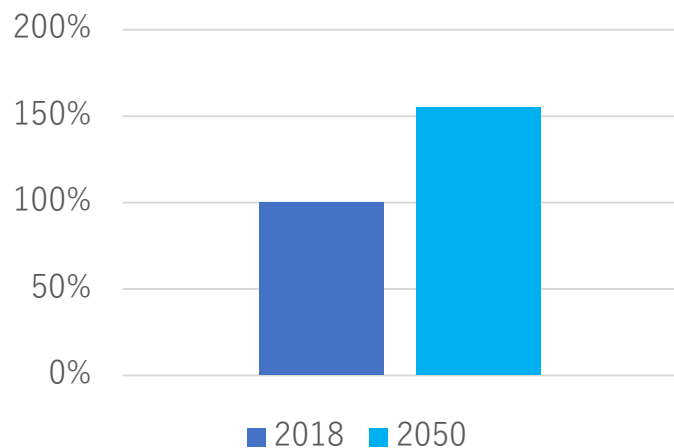
<出典> 気候変動：環境省ウェブサイト「地球温暖化防止コミュニケーター事業」

生物多様性：環境省ウェブサイト「生物多様性に迫る危機」

写真提供：米持千里、株式会社千葉農産、関東地方環境事務所、鍵井靖章

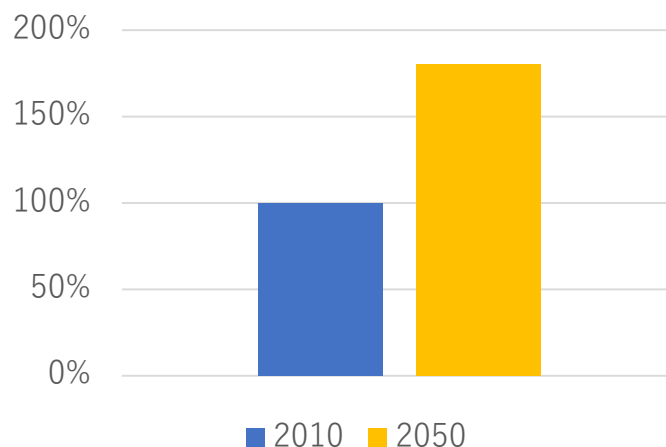
世界が直面している「持続可能性」の課題

【水の需要】



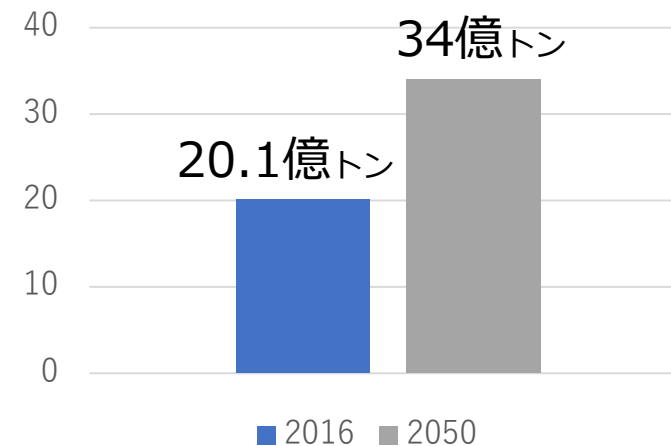
世界の水需要は
2050年までに **55%**増加

【エネルギー使用量】



世界のエネルギー使用量は
2050年までに **80%**増加

【ごみの量】



世界の廃棄物は
2050年までに **70%**増加

対策が講じられない場合、使用する天然資源やごみの量は、大きく増加してしまいます。

<出典> 水：国連広報センター 水と衛生に関するファクトシート（2018年3月21日）
エネルギー：OECD「OECD環境アウトルック2050」（2012年3月15日）
ごみ：世界銀行「What a Waste 2.0：2050年に向けた世界の廃棄物管理の現状と展望」（2018年9月20日）

最近ではこのような問題も

【海洋プラスチック問題】



毎年、**最大1,300万トン**ものプラスチックが川や海に流れています。



私たちが捨てるプラスチックは、**1年間に地球を4周することもあります。**



海洋ごみの50%が使い捨てプラスチック製品です。

<出典> 国連広報センターウェブサイト

このままでは、海洋に漂うプラスチックごみの量が、2050年にはすべての魚の重さを上回ると言われています。

<出典> 世界経済フォーラム報告書（2016年）

世界が直面している「持続可能性」の課題

【様々な人権の課題】

紛争下の人権

紛争下では、異なる民族や宗教などの人々を対象に、女性や子供への暴力をはじめ、様々な人権侵害が発生します。

市民的、政治的権利

世界には、法の前での平等や、移動、思想、表現の自由、選挙への参加などの権利が十分に守られていない人々がいます。

少数者の権利

少数の民族、宗教、言語などに属する人々の多くが差別の対象となっています。性的少数者の人々への人権侵害も深刻です。

社会的、経済的、文化的権利

公正な労働条件や、社会保障、心と体の健康、教育などを受ける権利が十分に守られていない人々がいます。

**国内外で、そしてあなたの身近なところでも、
様々な人権の課題があります。**

世界全体で取り組む持続可能な開発目標（SDGs）

2015年に、国連で17の目標が定められました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

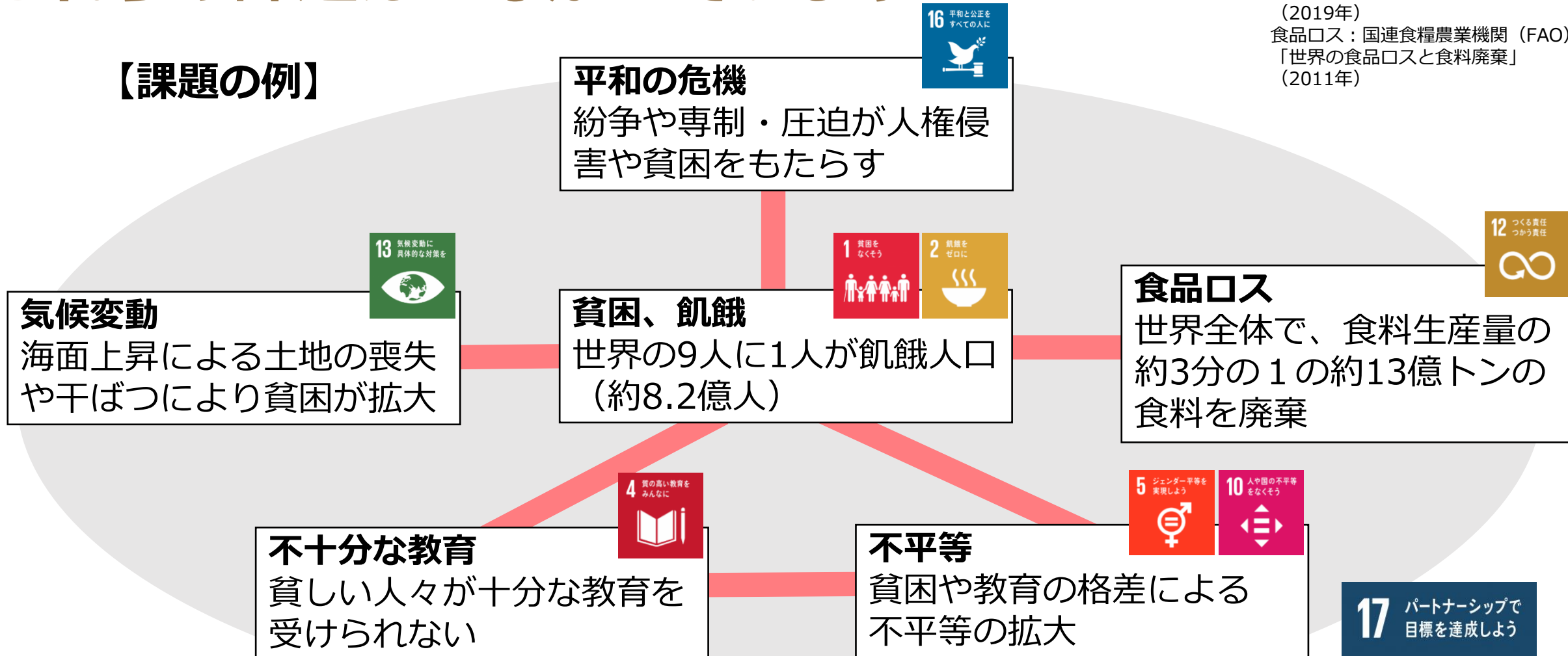


「誰一人、取り残さない」社会の実現に向けて、世界中で取り組みが始まっています。

これらの課題はつながっています

<出典> 飢餓人口：国連世界食糧計画（WFP）
「世界の食料安全保障と栄養の現状」（2019年）
食品ロス：国連食糧農業機関（FAO）
「世界の食品ロスと食料廃棄」（2011年）

【課題の例】



**課題にはつながりがあり、各主体が連携して、
包括的に取り組む必要があります。**



持続可能性は、これらの背景を基に
ますます重要になってきています。

言いかえれば、

未来のために全員で取り組むべき大きな課題です。

世界中の国、企業や団体、そして個人が
できることを考えていかなければなりません。

知ろう！

考えよう！

行動しよう！

2. 「スポーツ」 × 「持続可能性」

「スポーツ」×「持続可能性」

例えば、気候変動により、海岸の浸食が進み、降る雪が減れば、海や雪の中で行う競技はできなくなるかもしれません。

また、差別によりスポーツをする機会が奪われたり、スポーツの中で差別やハラスメントがあってはけません。スポーツをすること自体が、人権の一つです。

他にも、観客の移動、資源やエネルギーの消費、食事の提供、競技に必要な会場や物品を作るための労働環境など、環境や人権に深い関係があります。

発信力のあるアスリートや多くのファンの存在、メディアによる発信などにより、スポーツは、人々が社会問題に気づくきっかけにもなります。

特に、持続可能性に大きな影響をもたらすメガスポーツイベントには、国際的にも持続可能性への一層の配慮が求められています。



スポーツには、持続可能性と深い関係があります。

「スポーツ」 × 「持続可能性」

東京2020大会ビジョン

スポーツには
世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、
「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」、
「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」、
「そして、未来につなげよう(未来への継承)」
を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

東京2020も、スポーツの力で持続可能な社会の実現に貢献していきます。

3. 「東京2020」 × 「持続可能性」

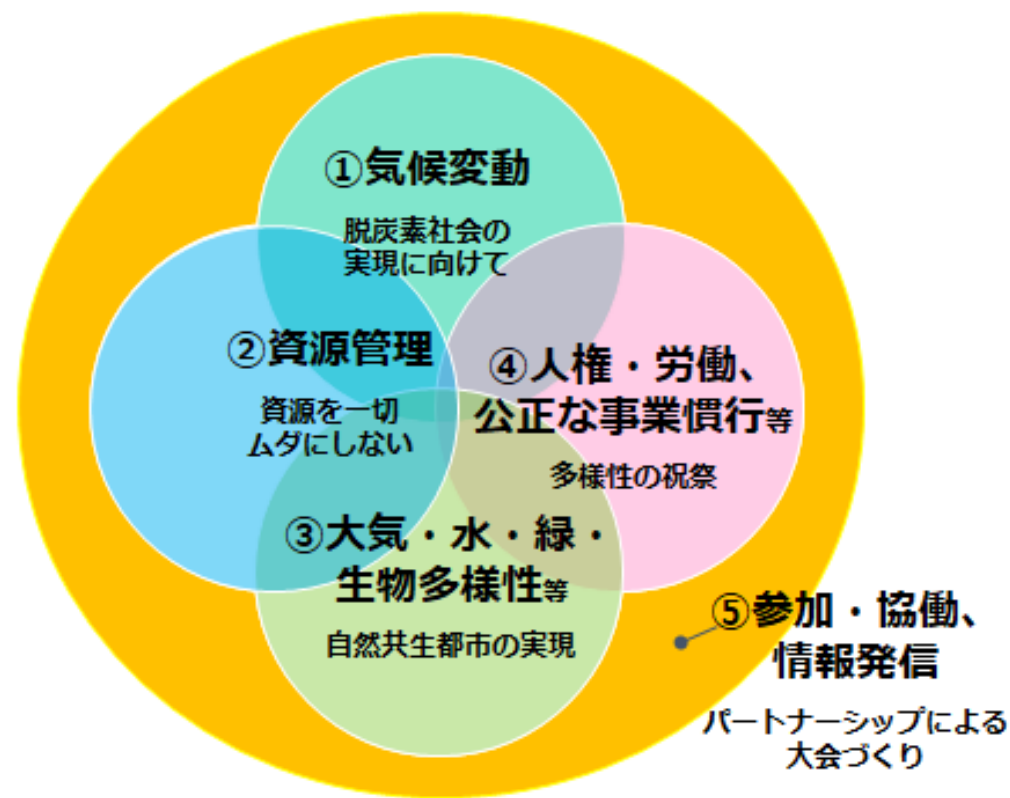
「東京2020」 × 「持続可能性」

東京 2020 大会の持続可能性コンセプト

Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

私たちは、大会に関わる様々な方々とともに、
地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性の損失などの
環境問題の解決や、全ての人々の人権が尊重される
社会づくりに貢献していきます。



東京2020大会の持続可能性の
5つの主要テーマ

Towards Zero Carbon -脱炭素社会の実現に向けて-

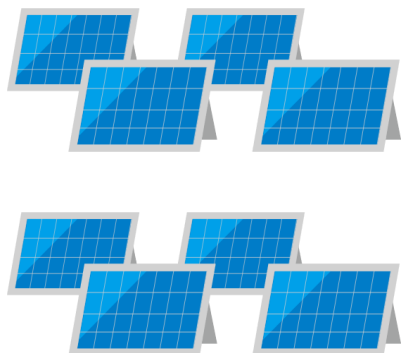
再生可能エネルギー電力の利用



競技会場、IBC/MPC、選手村において、
再生可能エネルギーを100%使用

再生可能エネルギー

競技会場



大会後の再エネ電気の社会的ニーズの高まり、
再エネ設備の導入・拡大への貢献

低公害・低燃費車の利用



燃料電池自動車(FCV)や電気自動車(EV)などの
低公害・低燃費車両を導入



FCV 約500台導入



EV 約850台導入

排気ガスを出さないゼロエミッション車(ZEV)に
より環境負荷を低減し、水素社会の実現にも貢献

都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト

約5,000個のメダルを国民の
使用済み小型家電からつくる



都市に眠る金属「都市鉱山」を
活用する循環型社会づくりに貢献

日本の木材活用リレー

63自治体から借り受けた木材で
選手村の施設を建設し、
大会後に木材を各地で再利用



- ・国産木材を使い、林業再生や森林保全に貢献
- ・再利用により環境負荷を低減し、大会のレガシーに

みんなの表彰台プロジェクト

家庭から出るプラスチック等を
集めて表彰台をつくる



使い捨てプラスチック活用の
新しいモデルを国内外に発信



調達物品の99%リユース・リサイクル

レンタル・リースや物品の再販を行うとともに、
大会関係者が連携して物品の後利用を推進

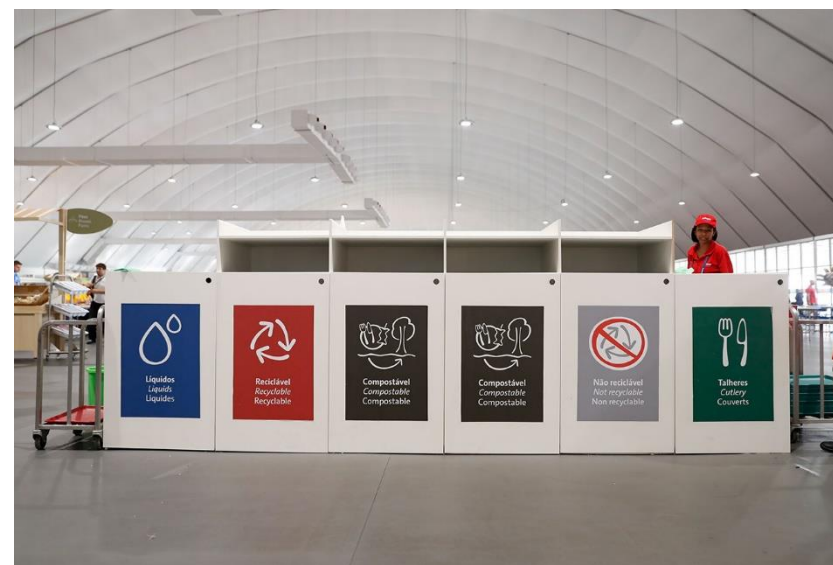


トイレユニット・
テントのレンタル事例

新たな物品の製造と廃棄物の発生を抑制し、
環境負荷を低減

運営時廃棄物の65%リユース・リサイクル

大会に関わる一人ひとりの参加により、
ごみと資源を適切に分別してリサイクル



大会開催中に発生する廃棄物について
質の高い資源循環を実現

City within Nature/Nature within the City -自然共生都市の実現-

競技会場におけるろ過施設の導入

12 つくる責任
つかう責任



新設競技会場において、ろ過装置を導入し、
水資源を有効利用



大会における水循環に配慮

競技会場等における生き物の生息・生育空間の確保

15 陸の豊かさも
守ろう



既存の緑との連続性を踏まえ、気候や風土に
適した樹種等により新たに緑化



豊かな生態系ネットワークを創出

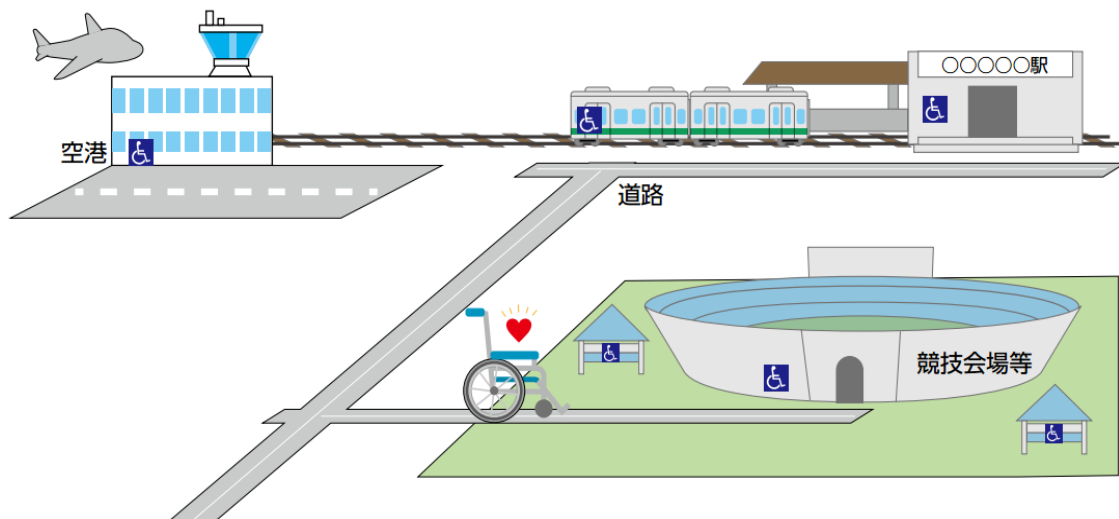
Celebrating Diversity -多様性の祝祭-

～国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則した人権の保護、尊重及び救済～



Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン

障がいの有無等に関わらず、全ての人に対して
会場までの一貫したアクセシビリティの確保



誰もが住みやすい施設・街づくりを実現

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

あらゆる差別・ハラスメントを受けることなく、
世界中から訪れる多様な人々が、お互いの違いを
認め合いながら、一緒に楽しめる大会を実現

Know Differences,
Show Differences.

ちがいを知り、ちがいを示す。

ダイバーシティ&インクルージョンの意識が
社会に浸透し、多様な社会を実現

Celebrating Diversity –多様性の祝祭–

～国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則した人権の保護、尊重及び救済～



セクシュアル・マイノリティへの取り組み

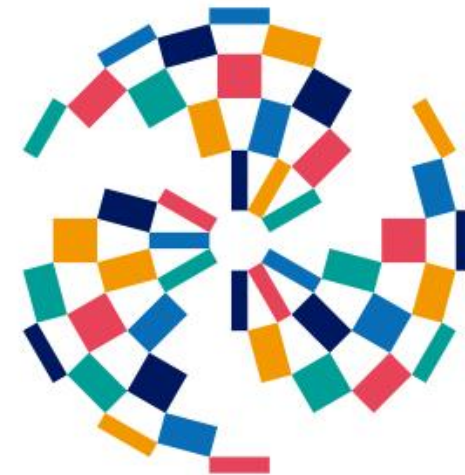
職場のセクシュアル・マイノリティへの取り組みを評価する「PRIDE指標」において「ゴールド」を受賞（2019年）
「持続可能性に配慮した調達コード」について、「ベストプラクティス」を受賞（2018年）



2018年の受賞の様子

東京2020 NIPPON フェスティバル

「共生社会の実現に向けて」をテーマとしたプログラムでは、個々を尊重しながら、多様な個性が交じり合う文化イベントを展開



東京2020
NIPPON
フェスティバル

職場やサプライヤーにおけるセクシュアル・マイノリティへの配慮を推進

文化イベントを通じて、互いを認め合う社会をレガシーに

United in Partnership & Equality -パートナーシップによる大会づくり-

国際連合・ILOとの連携



国際機関と連携し、SDGsの啓発やディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進



国連広報センターと連携した「開発と平和のためのスポーツの国際デー」記念イベント



ILOとの協力によるサステナビリティ・フォーラム

国際機関と東京2020が相互に協力し、大会をきっかけに国内外の人々の意識を啓発

東京2020 復興のモニュメント



被災地から世界へ
「感謝・応援～支援への感謝や選手への応援の気持ちを伝える～」
世界から被災地へ
「感謝・感動～応援への感謝やスポーツのもつ力を被災地に届ける～」
をコンセプトに、被災地の仮設住宅の窓等のアルミ建材を再利用してモニュメントを制作



岩手県、宮城県のデザインイメージ



福島県のデザインイメージ

- ・被災地と世界の双方向のコミュニケーション
- ・大会後は、被災地でレガシーとして継承

聖火リレートーチ、ユニフォームにおける持続可能性

聖火リレートーチ



聖火リレーのトーチに東日本大震災の復興仮設住宅のアルミを再生利用



オリンピックトーチ



パラリンピックトーチ

人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、平和のシンボルとしてトーチに姿を変え、復興に向けて進む被災地の姿を世界に発信

ユニフォーム



「暑さ対策・持続可能性・多様性」を重視
再生ポリエステル材や植物由来材を使用



フィールドキャスト
(大会スタッフ)



シティキャスト
(都市ボランティア)

資源の循環に加え、様々な年代、性別、国籍の方々が快適に活動できるよう配慮



持続可能性に配慮した調達コードとは？

東京2020組織委員会では、大会の準備のために調達するモノやサービスの供給過程（サプライチェーン）において、持続可能性が確保されるよう、事業者を求める事項を「調達コード」としてまとめています。

【調達における持続可能性の4つの原則】

- (1) どのように供給されているのかを重視する
- (2) どこから採り、何を使って作られているのかを重視する
- (3) サプライチェーンへの働きかけを重視する
- (4) 資源の有効活用を重視する

4つの原則を踏まえ、調達コードでは、法令遵守のほか、環境保全や人権の尊重、適切な働き方等を求めています。木材、農・畜・水産物、紙、パーム油については個別の調達基準もあります。



木材の調達

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



会場整備において、森林認証材等の
持続可能な木材を使用



梁や外装に森林認証材を使用した有明体操競技場

森林認証材の普及を通じた
持続可能な森林管理の拡大

食材の調達

12 つくる責任
つかう責任



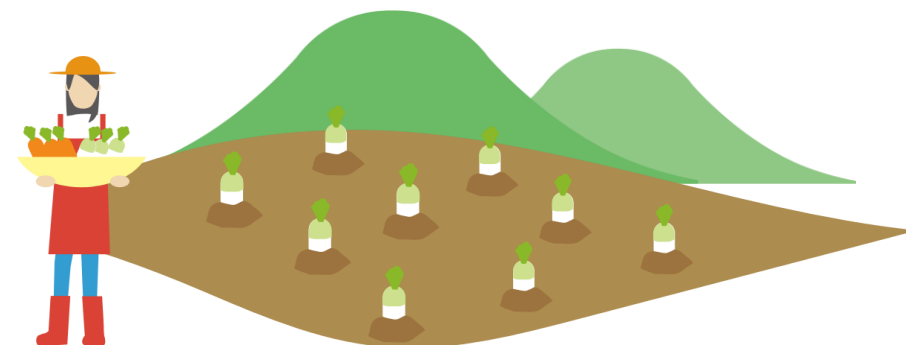
14 海の豊かさも
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



選手村等の飲食提供において、GAP*認証品や
水産エコラベル認証品など持続可能な食材を使用



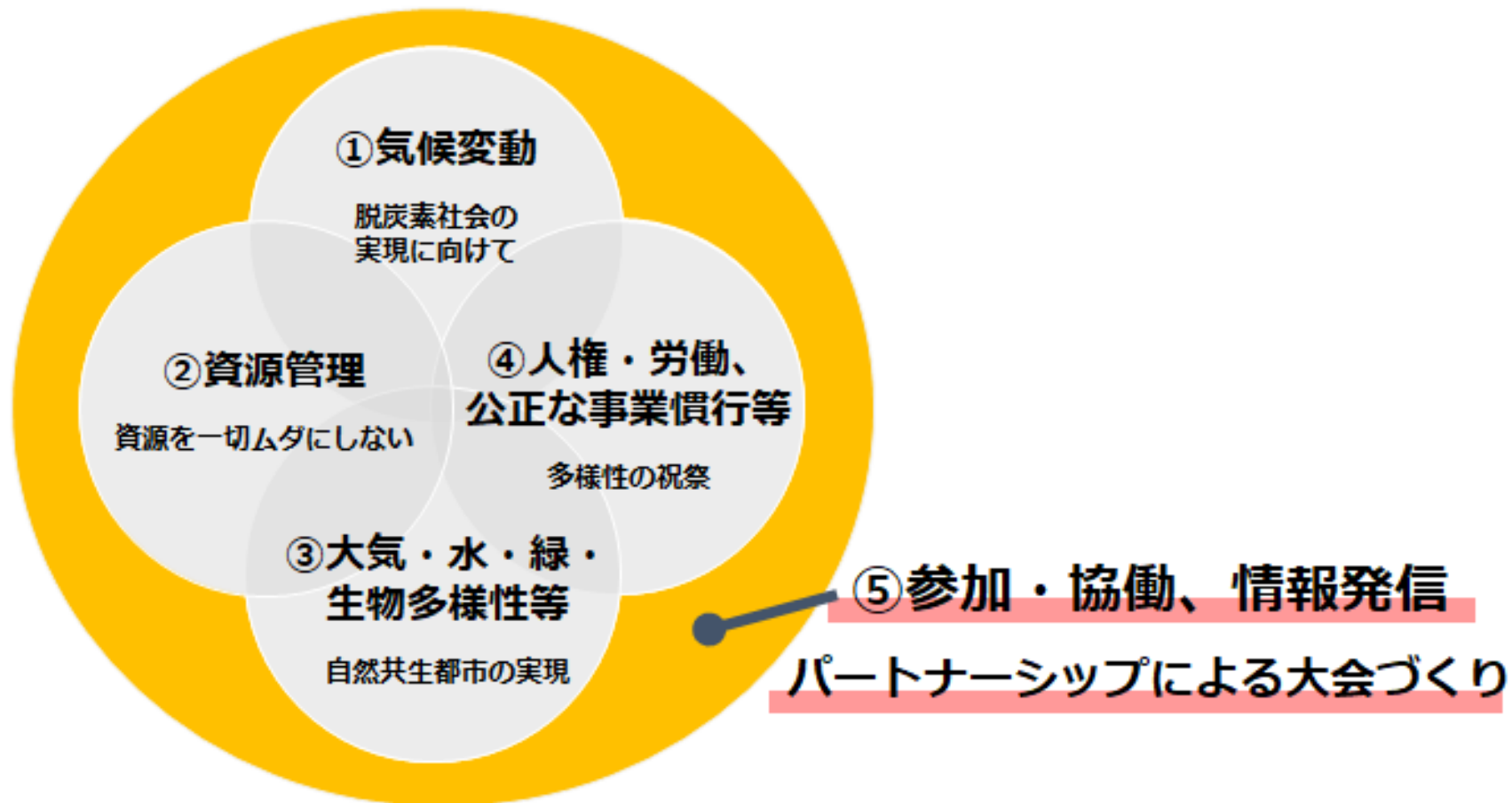
GAP認証等の取得増加を通じた
農林水産業の競争力強化

*GAP (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) とは、農業において、
食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み

4. 東京2020の持続可能性と皆さんとの関わり

東京2020の取り組みと皆さんとの関係

【東京2020大会の持続可能性の5つの主要テーマ】



東京2020大会の持続可能性には、
「皆さんと共にできること」 がいくつもあります。

東京2020を通じて皆さんと共にできること

大会前

大会中

大会後

移動

大会中

周辺イベント
への参加

みんなの表彰台プロジェクト



家庭から出るプラスチックを回収しているお店に持っていこう

市民によるCO₂削減・吸収活動



大会をきっかけに、CO₂を減らすための省エネを始めよう

スポーツごみ拾い



ごみ拾い×スポーツ＝「競技」
日本発祥の新しいスポーツに参加しよう

小型家電のリサイクル



メダルプロジェクトをレガシーとして
小型家電リサイクルに取り組もう

東京2020を通じて皆さんと共にできること

大会前

大会中

移動

大会中

周辺イベント
への参加

大会後

「東京2020参画プログラム」のアクションに参加してみよう
【アクションの例】

<https://participation.tokyo2020.jp/>

パラスポーツ交流会



木の大切さを学ぶイベント



女性のエンパワーメントの展示



東京2020を通じて皆さんと共にできること



公共交通機関の利用



できるだけ環境負荷の少ない公共交通機関を利用して移動しよう

ごみの分別



大会会場でも、身近なところでも、ごみを分別してリサイクルしよう

ダイバーシティ & インクルージョン

Diversity & Inclusion

人種・価値観・障がいの有無に関わらず、自分らしく輝こう
大会や身の回りで、お互いの違いを認め合い、自分らしく輝いている人を応援しよう

文化イベント



東京2020
NIPPON
フェスティバル

文化の祭典への参加を通じて、多様性の力と素晴らしさを実感しよう

東京2020を通じて皆さんと共にできること



みんなに伝えよう～成果を未来に

- 地域スポーツ×地域づくり
- アクセスしやすい、心地よいまちづくり
- 誰もが価値観や違いを受け入れ、能力を活かす社会
- ごみの削減、リユース、リサイクル
- パラスポーツの応援
- 自宅やオフィスでの省エネ

東京2020大会をきっかけに、自分が感じたことを家族や友達と振り返ってみよう

みんなの「サステナビリティ宣言」

わたしが続けていきたいのは、

です。

「これならできるかも」と思うことを書いてみよう
そして、できることを続けていこう

もっと学ぼう、行動しよう



暮らしを支える製品がどのように作られているかなど、関心を持ったことをもっと学んで、行動してみよう

5. おわりに

“未来を生きる大切な人達”を幸せにするために

“今の私達”は何をするべきか？

東京2020大会が、

皆さん一人ひとりが気づき、動き出すきっかけを作るという

大会のレガシーを残すことができれば、

本当に未来と世界を変えることができるかもしれない。

私達はそう考えています。

Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。



Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

気候変動

脱炭素社会の実現に向けて

資源管理

資源を一切ムダにしない

大気・水・緑・生物多様性等

自然共生都市の実現

人権・労働、公正な事業慣行等

多様性の祝祭

参加・協働、情報発信

パートナーシップによる大会づくり



調達物品の99%のリユース・リサイクルを実施

公共交通機関の活用

日本の木材活用リレー みんなで作る選手村ビレッジプラザ

既存会場の活用

持続可能性に配慮した調達コード

燃料電池自動車等の活用

再生可能エネルギーの電力を100%活用

国連「ビジネスと人権に関する指導原則」への準拠

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

MEDAL PROJECT

Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドラインの策定

雨水の循環利用・都市と自然の共生

東京2020 参画プログラムを全国で展開

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標

東京 2020 大会を通じて、世界共通の課題である国連「持続可能な開発目標 (SDGs)」に貢献します。

イラストはあくまでイメージです。公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会